

これまでに冠動脈バイパス術を受けた患者さんへ 【過去の検体、診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 心臓血管外科では、「右内胸動脈-前下行枝吻合成功のための新たな適応基準：術前 CT 解析を用いた予測モデル」に関する研究を実施しています。

冠動脈バイパス術（CABG）は、狭くなった冠動脈に新しい血管をつなぐことで血流を改善する手術です。特に内胸動脈は長期的な開存性に優れているため、最も重要な役割を持つ左冠動脈の前下行枝（LAD）と回旋枝（Cx）に吻合することが推奨されています。その一つの方法として、右内胸動脈（RITA）を前下行枝に、左内胸動脈（LITA）を回旋枝に吻合する手法があります。

しかし、心臓は体の左側に位置するため、前下行枝の吻合部が右内胸動脈から遠い位置にあることが課題となります。その距離や内胸動脈の長さには個人差があり、一部の患者さんでは右内胸動脈が前下行枝に届かず、手術中にグラフトの変更が必要になる場合があります。このような予定外の変更は、手術時間の延長、出血リスクの増大、吻合クオリティの低下などのリスクを伴うため、可能な限り回避することが望まれます。しかし、これまでに術前に右内胸動脈が前下行枝に届くかどうかを正確に判断する方法は確立されておらず、外科医の経験に依存しているのが現状です。

そこで本研究では、術前 CT データを解析し、右内胸動脈-前下行枝吻合の適応を客観的に予測することで、術前計画の精度向上を目指します。既に撮影された CT 画像を用い、右内胸動脈の長さや前下行枝との位置関係を定量的に評価し、統計解析や機械学習を用いた予測モデルを構築します。この研究により、術前診断の信頼性を高めることで、手術リスクを低減し、患者さんの予後を改善することが期待されます。

本研究では、過去に冠動脈バイパス術を受けられた患者さんのカルテや画像データを用いて解析を行います。この研究が今後の治療の向上に役立つことを目指しておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

○この研究の対象となる方は、2015 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに順天堂医院で冠動脈バイパス術を受けた患者。

利用させていただくカルテ情報は、患者背景（年齢、性別、喫煙歴、既往歴、併存疾患、内服薬など）、身体所見（体重、身長、血圧、脈拍など）、周術期の検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、手術データなどです。診療の範囲内に施行した検査結果のみを利用します。そのため、本研究のために新たに検査を行うことはありません。

カルテ期間：2015 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日

○この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認および研究機関の長の許可を受け、以下の期間で行われます。情報の利用を開始する予定日は以下のとおりです。を受けて行わ

れます。

- ・研究実施期間 研究実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日まで
- ・利用を開始する予定日：研究実施許可日
- ・研究責任者 木下 武

○過去のカルテなどの治療データを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

○患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表しますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

○この研究は、心臓血管外科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の研究責任者および研究分担者には開示すべき利益相反はありません。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、研究対象者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 心臓血管外科

電話：03-3813-3111

研究担当者：木下 武